

「サポレン」と共に守る高尾山

自然公園は広大。施設や歩道の管理だけでなく自然相手に日々格闘している東京都レンジャーには、なくてはならない存在がいます。いつも惜しげもなくそのマンパワーを使ってくれるボランティア。それがサポートレンジャー、通称「サポレン」です！

高尾山は、利用者全国1位を誇る大人気の山ですが、それ故の課題も多く抱えています。それら一つ一つを解決するため、高尾レンジャーと共に活動する高尾サポレンの活動をご紹介します。



様々な利用者に対応した整備



小学生の遠足にも利用されるため、歩きやすい登山道の整備が欠かせません。夏の草刈りや台風後の土砂掻きは大切な作業。今年度は特に6号路の整備に力を入れています。利用者が多いため、土が掘れて木の根が露出し、転びやすい状態に…。そこで根の空間を少しずつ埋めて補修しています。根を守りつつ歩きやすい道を目指しています。

自然保護・状況調査

植物の種類が多い所も高尾山の魅力ですが、一部の観察者により荒らされる事も。看板を設置してマナー向上を促したり、植物の生育状況の確認を行っています。

また、ツキノワグマの出没に対応して堅果類調査を実施しています。



繁忙期対応「6号路一方通行」

高尾山では、紅葉シーズンの混雑に対応するため、道幅の細い6号路のほぼ全線（琵琶滝分岐～5号路との分岐）を、一時的に登り一方通行にします。

期間：2024年10月26日（土）～12月1日（日）

時間帯：8時～14時

期間中6号路でのトレイルランニングはご遠慮を。ご協力をお願いいたします！！



目印は、青い帽子と赤のTシャツにSR(support ranger)のマーク！



準備も一緒に行っています。



東京のツキノワグマ事情

東京都の山にはツキノワグマが生息しています。
近年、全国的に出没や人との接触が騒がれていますが、
東京の山ではどうでしょう？
日々山の中を歩いているレンジャーが肌で感じるクマの
気配についてお伝えいたします。

確かにいます！

巡視中に彼らが木の皮を剥いだ痕や
壊した指導標をたくさん見つけます。
痕跡は、高尾山などの低山よりは、
奥多摩など標高が高い
場所の方が多く見かけ
ます。

ではレンジャーは
よく彼らに会うのか？
というと…

レンジャーが活動する9時～16時位は
あまり歩き回っていないようです。



ゴミが誘発すること…

河原のBBQゴミ等によって来ることも。
引き寄せない事も大切です。

どうすれば遭遇しない？

- ・朝晩に山を歩くのは避ける
- ・人の気配を嫌がるので、クマ鈴やおしゃべりな
どの音で人がいる事を知らせる
と遭遇しにくくなるでしょう。

もしあってしまったら…

距離があるなら、刺激させず、彼らを見なが
らゆっくり後ずさります。彼らが逃げていく事
が多いです。

昨年より
実り豊かです



今年も堅果類調査を実施しました

彼らは、秋から冬にかけてドングリなどの堅果類の実を好んで食べます。堅果類の豊凶（実り具合）とクマの人里への出没の多さには関係があると考えられています。

そこで、毎年サポートレンジャーと共に奥多摩、御岳、檜原、高尾周辺の堅果類の豊凶調査を実施しています。＊調査結果は、多摩環境事務所鳥獣保護担当に提出しています。

（調査は、独立行政法人森林総合研究所の「ツキノワグマ出沒マニュアル」に基づいて、平成25年度より毎年実施しています。）

2024年度調査結果

ミズナラ：並作
コナラ：並作
クリ：豊作
ブナ：凶作

レンジャーが見てきた 自然公園の20年



山のトイレも時の流れ
とともに、リニューアル
されています。
懐かしのトイレをご紹
介。記憶に残っているも
のはありますか？

2000年レトロな男子便所
どこのかな…？



10年前



汲み取り式から
無法流式
バイオトイレへ

現在



10年前



汲み取り式から
オガ屑循環式
バイオトイレへ

2025年
NEW OPEN予定！



奥多摩小屋便所

五十人平野営場便所（名称変更）

外観だけでなく、処理の方法も進化しています！

連載企画 第6回目

レンジャーお気に入りの1枚！

2枚…？



巡視中に不思議な枝を発見しました。
その枝は机に置いて少し待っていると、ひとりで動く枝
でした。よ～く観察してみるとシャクガ類の幼虫でした。幼
虫は危険を回避しようと、一生懸命に体をピンッと伸ばして
枝になりすましていたのでしょうか。その姿は芸術と愛らしさ
を兼ね備えていました。

R 東京都レンジャーの業務

- 1 観光客などへの利用マナーの普及、啓発
 - 2 希少な動植物の密猟や盗掘の監視
 - 3 利用者の安全確保のための遊歩道や案内板などの点検、応急補修
 - 4 動植物の生息、生育状況など自然環境の継続的観測および監視
- その他、自然公園を訪れる皆様への自然解説、登山ルートや施設の案内

自然情報などの問い合わせ

高尾ビジターセンター	042-664-7872
奥多摩ビジターセンター	0428-83-2037
御岳ビジターセンター	0428-78-9363
小峰ビジターセンター	042-595-0400
山のふるさと村ビジターセンター	0428-86-2551